

ぶらっとおむ



第20号

- ★ごあいさつ
- ★滑り台・登り台設置プロジェクト報告
- ★音楽イベント紹介
- ★しんぐるまざあずカフェ
- ★面会交流奨励
- ★性の健康教育プログラム
- ★ティータイム“りご”
- ★リポート 心のケア講座
- ★子どもを取り巻く性暴力
- ★キッズカフェ
- ★子育てひろばのある風景
- ★インフォメーション

「暴力や差別のない社会をつくりたい」「全ての人々が尊重され、大切にされる社会をつくりたい」私たちは、そう願って活動しています。誰一人としてそこからこぼれおちていい人はいないはず。経済優先の社会から「いのち・からだ・こころ」が優先される社会へ。そんな豊かな社会の中でこそ、子どもは豊かに育ててゆくでしょ



う。一人ひとりの子育てを大切にすることで社会が豊かに育っていくのではないのでしょうか。(奥野)

特定非営利活動法人こどもステーション「もこルーム」

〒720-2104 広島県福山市神辺町道上 2862-1 TEL&FAX:084-965-6625(もこルームにGO!)

E-mail : info@kodomostation.or.jp

URL : http://kodomostation.or.jp/



滑り台・登り台設置プロジェクト 達成！ ～ご協力ありがとうございました～



滑り台の下に敷くマットを購入予定でしたが、パズルマットの寄付がありましたので、それをさせていただくことにし、残金は、もこルームの更なる設備充実のために使わせていただきました。以来、たくさんの子どもたちが楽しく遊んでいます。

立った状態ですいすいと登って得意げに歩いて降りていく子や、ハイハイで手の力・からだ全体の力を使って登り、満足げに滑って降りる子ども、頭から降りたり、横向きに降りたり。登っては降り、降りては登るを何度も繰り返し、滑り台の上が混雑していても押し合いしてケンカになることがたぶん今までに一度もありませんでした。敢えて手すりや柵を付けなかったことで、子ども自身が”ケガをしない”工夫をしているのだと思います。子どもの「自分を守る力」「調和する力」をあらためて感じています。

「滑り台・登り台設置プロジェクト」に際し、たくさんの方からご支援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。これからも、子どもたちの笑顔に包まれ、もこルームの一員として、大切にされていくことでしょう。

2015年5月28日より、もこルームに乳幼児用の「滑り台・登り台」を設置するために目標金額9万円の資金集めのためのプロジェクトをスタートさせたところ、お陰さまで、同年9月9日には、合計92,119円が集まり、目標金額を達成することができました。

さっそく、いつもご支援いただいている「のじま家大工店」様に発注し、製作に取り掛かっていただき、10月6日に納品していただきました。



もこルームは 音楽がいっぱい

現在、もこルームでは、毎月、5つの「音楽プログラム」を開催しています。

音のひろば

毎月最終月曜日 11:00～11:45
ピアノ・構成・編曲 安原容子さん(ピアニスト)
対象:赤ちゃんから大人まで
歌やリズム楽器・たいこを使った楽しくて小さなコンサート。音楽好きなママ・パパの活躍の場。

親子でリミックス

毎月不定期開催 10:30～11:30
講師 兼重奏美さん(音楽講師)
対象:1歳～3歳
生演奏のピアノ・サックスの音に合わせて身体を動かして遊びます。表現力を身につけます。



プレ音楽教室

毎月不定期開催 11:00～11:45
講師 岡本奈美さん(ピアニスト)
対象:3歳～5歳 (年齢は応相談)
鍵盤を弾くための「脱力」、ドレミで歌ったり、音楽の諸要素を学びます。保護者と一緒に！

ハッピー-バースデー

毎月開催 11:00～11:45
ピアノ 岡本奈美さん
対象:どなたでも
誕生日会を音楽プログラムで盛り上げます。

Jona ママと英語であそぼ

毎月開催 11:00～11:30
講師 キルマーティン衣里子さん
対象:どなたでも
iphonから流れる英語の歌と一緒に楽しく歌おう・踊ろう・遊ぼう！

レポート

しんぐるまざあずカフェ

しんぐるまざあずカフェに参加して・・・

しんぐるまざあずカフェには、離婚後数年経った方、離婚直後の方、現在調停中の方、離婚を希望するものの方、たら良いか悩んでいる方、離婚自体をどうしようか迷っている方など、立場・状況が異なる様々な方が集まるので、いろいろな角度から今自分が置かれている状況について考えてみる事が出来ます。

初参加の時には別居中で、離婚すべきか、息子のためにもこのまま別居を続けていくべきか途方に暮れていた私ですが、カフェで皆さんがあたたかい雰囲気の中で息子にも私にも接して下さったおかげで、少しずつ前に進む勇気が持て、納得がいく答えを自分で出す事が出来ました。

当初の私は、もう夫は亡くなったことにして息子とは会わせないようにしたいと思っていたのですが、別れても子どもにとって父親は父親、会うかどうか決めるのは子ども自身であって、私が決めるべきことではないと、このカフェに参加して気づきました。1歳の息子が今決めることは出来ないのに、大きくなり自分でしっかりした判断が出来るようになるまで、自分がどうしたいのか選べるように、選択肢をたくさん残してあげられるよう動くことが、今の私にとって大事なことであり、頑張りどころだと思えるようになりました。

そう思うようになったおかげで、今後息子と夫が面会をしていくことの意義について、夫に理解をもらうために話し合いの場を設ける提案をする勇気が持て、ギクシャクしていた夫との関係が少しだけ良い方に傾いた気がします。もし、息子にとっての選択肢を増やそうとせず、あのまま自分の感情だけで突っ走ってしまっていたとしたら、自分本位な離婚になり、息子の気持ちを本当に大切に考える心のゆとりも持てていなかったと思います。

離婚の道を選び、夫婦ではなくなりましたが、これからは子育てのパートナーとして、ギクシャクしつつも前向きな関係でいられるよう努めたいと思っています。(そらまめサン)



あ る 日 の 風 景

しんぐるまざあずカフェのクリスマス会

2015年12月19日(土)しんぐるまざあずとその子どもたちのクリスマス会を開催しました。参加10組、子ども9人、スタッフ4人。

事前に準備した唐揚げやピッツァ、作って食べるおにぎらず、用意されたお菓子・・・が机の上に並びました。みんなのお茶の準備が終わったら、カフェオープンです。

この日は丁度、S君の誕生日。スタッフが急遽ケーキを注文して、誕生日をお祝いもしました。

こどもステーションにご寄付いただいた豆徳さんのお豆や丸天産業さんのシールなどを袋に詰めて全員にプレゼント。子どもたちには、「しんぐるまざあずカフェの子どもたちに」と届いたサンタさんからのプレゼントや、もこルームのリサイクルコーナーから好きな物を選んでもらったりしてプレゼントしました。

参加者のママから手作りのプラバンの装飾品をスタッフにもプレゼントしてもらいました！子どもたちは大賑わいで、ママたちのおしゃべりもはずみです。

楽しい楽しい「しんぐるまざあずカフェ」は、毎月開催しています。3月は、イチゴ狩りに行こうと計画中。

・・・その1・・・



親が離婚しても・・・、 離れて暮らす親からも愛されていることを 子どもが実感できるように・・・。

もこルームでは、子どもの健やかな成長をサポートすることを目的に、面会交流のお手伝いをしています。

皆さんは、「面会交流」ってご存知でしょうか？

面会交流とは、離別した夫婦の子どもが、普段は離れて暮らしている親と定期的に面会したり、電話・手紙・メールなどで交流したりすることです。

穏便に離婚が成立する場合、協議離婚といって、夫婦間で話し合っ
て子どもの養育費や面会交流のことを考えあいます。当事者同士で決
められないときは、家庭裁判所の調停や裁判で決めることができます。

日本では現在、90%近くが協議離婚となっていますが、とにかく、
離婚成立させることが先行して、養育費や面会交流の取り決めをしな
い場合も相当数あるようです。また、せっかく取り決めをしても、日程を
調整しあうことが難しく、面会交流は行われぬまま、養育費は支払わ
れないままになっていることが大変多いそうです。

そんな中、もこルームの援助には、土日祝日の もこルームの一般利
用が休みの日限定で行う、「付添型援助」。これは、もこママがもこルーム
内で面会交流に付き添うものです。また将来的には、託児的にいつでも
利用できるタイプの「受渡型援助」の2種類があります。現在は、6組の親子
が、それぞれ別の日程で、もこルームでの付添型援助を継続利用しています。

子ども・母親・父親・もこルームスタッフ・広島ガス東中国(株)の5者の都合を調整して開催しているので、日程調
整が大変ですが、少なくとも、こちらの都合で開催できないということが無いように、取り組んでいます。

親の離婚によって子どもは、怒りや痛み、悲しみ、自責、恐れや失望など、いろんな感情を経験していることでし
ょう。両親の仲直りを期待しているかもしれませんが。子どもの前で怒鳴ったり暴力をふるったりということがなければ
なおさらです。しかし、親が高葛藤のまま、面会交流などの取り決めもない限り、子どもはもう一方の親に合うこともでき
ないし、その親の話をすることもできず、初めて経験したその感情を吐き出すこともできず、ためこんで苦しみ、その
苦しみから逃れるために、「自分が悪かったんだ」と決め込んでしまったり、「自分がいい子にしていればまた元に戻
るかもしれない」と期待してしまうかもしれません。吐き出すことが許されなかった「気持ち」は、将来いつかひずみと
なって噴き出してくるかもしれません。

かと言って、私は面会交流を手放して賛成することができません。葛藤を抱えたままで面
会交流が取り決められると、小さな子どもはその間で、どちらの親にも気を使わなければなら
なくなるからです。もしかしたら、交流中に、別居親から同居親の悪口を聞かされるかもしれ
ません。子ども自身の言動や、苦手なこと・不得手なことを同居している親の責任にされるの
ではないかとドキドキしているかもしれないのです。

「やりがいがある仕事ですね」と言われることがありますが、残念ながら、まだ一度もそう感じ
たことはありません。それでも、一年半活動してきて、「子どもには生きる力がそもそも備わっ
ている」ということをあらためて実感しています。その力を最大限サポートできるひとりの大人
でありたいと願っています。(奥野)

がんばれ智ちゃん 介護職奮闘記 by まき

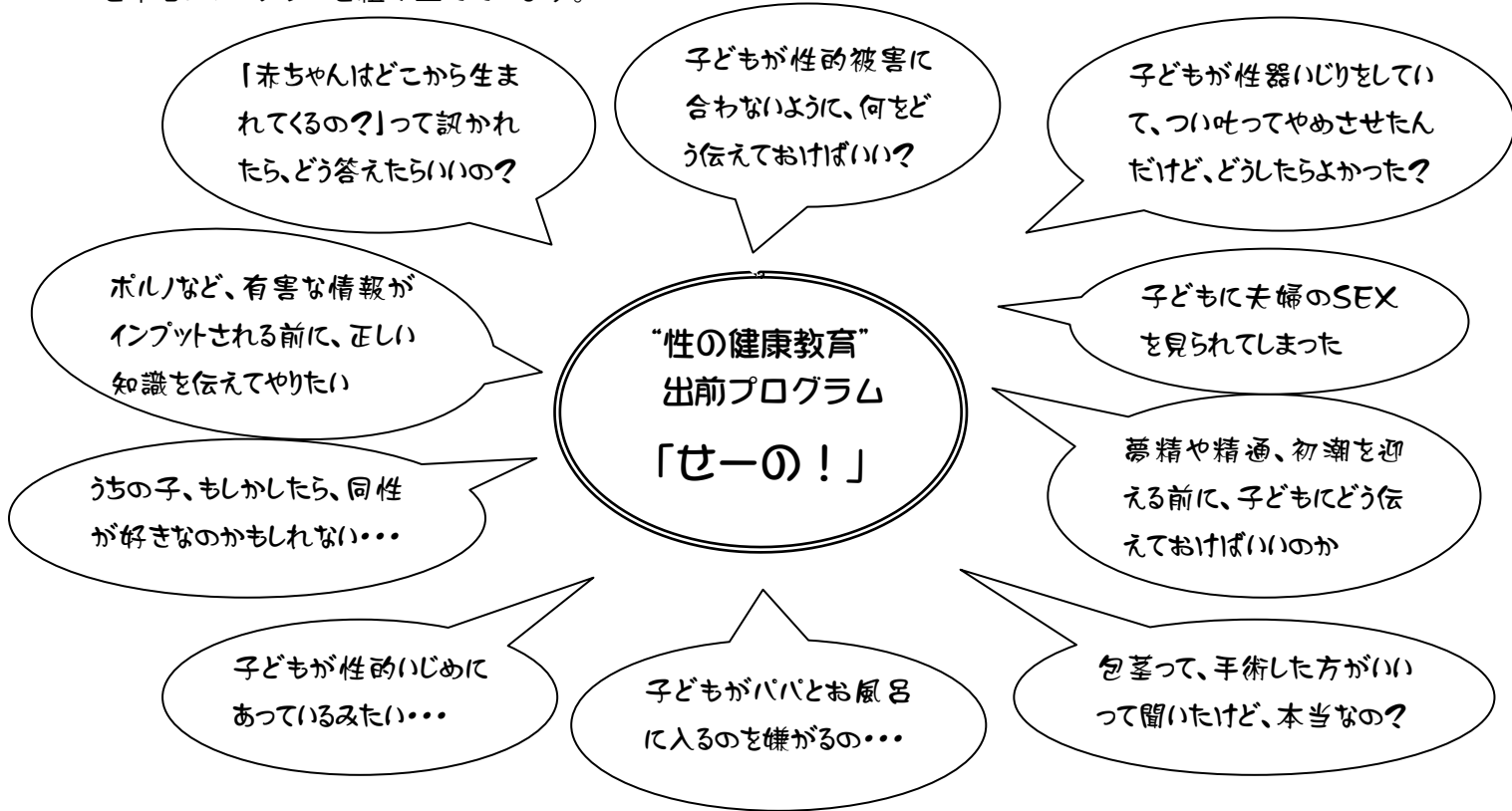


性の健康教育プログラム「せーの！」開発にあたって

こどもステーションでは、現在、(財)ツネイシ未来財団の助成を受け、乳幼児の保護者と幼児向けの「性の健康教育プログラム」を開発中です。子どもたちが、自分の心と体を大事にして性の自己決定ができ、性の被害者にも加害者にもならないために、子どもたちや子どもを取り巻く人たちに性の健康教育プログラムを届けます。

乳幼児の保護者向けには、「暮らしの中で子どもにどのように対応するか」

幼児向けには、「子どもが科学者になったように体について理解し、生まれてきてよかったと思えるように」を中心にプログラムを組み立てています。



大人向け・幼児向けプログラムの実施を繰り返し、改善を図って、2017年1月から本格実施ができるよう計画していますので、試作段階でのプログラム実施に協力して下さる施設(保育所・幼稚園・子育てひろばなど)を募集します。

ティ・タイム

「子どもが親の離婚に出会うとき」

現在、離婚(別居)を考えている・離婚(別居)した親に向けて、子どもの気持ちや困りごとと一緒に考える機関を紹介するパンフレットを制作中です。【しんぐるまざあずカフエ】のポスターにはさみこめる形にしています。

ポスター設置やしんぐるまざあちの就労支援・物品援助、こどもステーション(子どもータルサポート)へのカンパなど、皆さまの力を貸してください。ご協力お願いいたします。

振込先 郵便振替 01310-5-53414 トクビ)こどもステーション
広島銀行 神辺支店

ひとり親になったら どんな悩みがでてくる?

子どものこと...

- 子どもはどんな気持ちだろう...
- 子どもに、どう伝えたいの?
- 子どもにどんな影響が出るのか心配...
- 子どもと別居親との面会交流、どうしよう...
- 子どもの学校・保育園には、どう話したら...
- PTA や子ども会... 役員が回ってきそう...

お金や仕事のこと...

- 生活していけるんだろうか...
- 教育資金、どうすれば...
- 婚姻費用・養育費について知りたい...
- 働かなくちゃ...
- 働く元気がない... けど、どうしよう...
- 仕事が見つからない、休めない...

結婚の手続き... どうしよう...

- 夫(妻)とうまく話し合えない...
- 引っ越しやその手続き...
- 子どもの学校や保育園の移動...
- 保険や年金はどうなる?

各種手続きのこと...

子どもの障害がある...

- 私自身、争って取れない...
- 子どもに何を習得する余裕がない...
- 塾や習字・習字の費用は高い...
- 自分を責めてしまう...

体のケアのこと...



レポート

女性の心のケア講座

心のケア講座に参加して・・・

4年前にNHKの少年犯永山則夫についてのドキュメントを見ました。50年前、この事件は貧困と無知が根底にあると考察されていましたが、その番組では暴力と虐待から社会分析するものでした。

私の兄弟達は優秀で大変な努力家です。しかし皆生き難さを抱えていました。永山死刑囚の育った環境と性質の中に私たち兄弟と彼とに共通するものが有ることに気が付き始めた頃でした。『暴力の構造を知ることによって自分を解明したい。』それが心の健康講座を受講する動機となりました。「怖い・哀しい出来事は暴力の構造の中で人の心理や出来事とどう繋がり人の背景を形成するのか」を解明したいと思ったのです。

境界線・自尊心・暴力と支配の関係などのテーマを理解し、回復する為のツールと自分をつなげていく作業を一年間12回のテーマに沿って続け一年経つ頃、私の体にグルグル巻き付く糸と何枚もの扉が私を囲むように存在しているのが見えてきました。糸をほどいたら扉を開けて、開けた先に見えたのは、「自分を認めることから始まるのだ」ということでした。私は、沢山の自分の愛しさや自分の持っている力に気付いて、過去の出来事や人に焦点を当てる事よりこれからの自分に焦点を当てるという位置に漸くたどり着きました。その視点はそれまでの私にはない考え方でした。

私を傷つけた人が私の回復に手を貸してはくれないのだから、立て直しの行為者は私自身です。心の健康講座では、追い詰められた鼠が小さな穴から生きる道を探し得るように、私にもまだ出来る事が有ると、回復の為のツールや体や心のケアの大切さを学びました。又、自分の中にこそ有る傷つきの中で鍛えられた、生きる力に気づくヒントももらえました。自分を大切にするとか自分をケアする習慣がなかったのでケアへの意識は楽しみを知ることにもなりました。

私はこれからも、本来の私を生きる為に繰り返しこの講座を振り返り続けるでしょう。時と共に私に変化すれば、この講座をとらえるポイントや内容への理解も変化して行くでしょう。この講座は私にとって常に新しい講座なのです。

(西七代)

～子どもを取り巻く性暴力をめぐって～

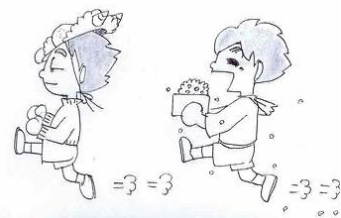
2016年1月8日(金)もこルームに、NPO法人ホツとる一むふくやま代表・谷元絢子さんをお招きし、公開講座「子どもをめぐり性暴力」を開催しました。社会からはなかなか見えにくい「性暴力」ですが、現場にはたくさんの相談が入ってきている現状、などの報告がありました。

現在、「性犯罪」として規定されているのは、明治憲法下で制定され100年以上改正されていない、家父長制に基づく「性秩序の維持」を目的に作られた刑法です。夫に対する性的忠誠であるところの「女性の貞操」の侵害として性犯罪は規定されているのです。何とかこの刑法を改正し、真に被害者を守りうる法制度を作ろうと、全国で様々な議論が行われています。「性暴力被害者支援法」を求める動きや性暴力被害者支援のワンストップ化も広がっています。

ニュースなどで見聞きしたり、一般にイメージされる「性犯罪」よりももっと広い定義で「性暴力」を捉えていかなければ、夫婦や恋人間の強姦、男性の被害、親や親族から・教師から・信頼していた知人からの性的暴力に苦しむ被害者が声をあげにくいままです。組織的犯罪である「買春」。その中で未成年の被害が大変深刻化しています。

子どもの時に受けた性被害、そのトラウマに苦しむ方の精神的苦痛は、その方の心身にどれだけの影響を及ぼすか、私たちは想像しなければならないでしょう。

AKB48などの、華やかな女性アイドルグループの陰に、女性性を商品として扱うことが容易にできるようになっている今、私たちにできることがまだまだたくさんあるとあらためて考えた研修会でした。(奥野)



あ る 日 の 風 景 ・ ・ その 2 ・ ・

子どもわくわくお仕事体験「キッズカフェ」

2015年10月28日(土)～29日(日) 広島県立ふくやま産業交流館ビッグローズにおいて、「子どもお仕事ワクワク体験『キッズカフェ』」を実施しました。

体験者数 23名、子ども店員が対応したオーダー数 477オーダー
この企画は、広島ガス東中国(株)様ほか、広島ガスプロパン(株)様、(有)ハヤカワ様が主催する「2015ガス展 プロパンダ in ビッグローズ」開催に際して、ご来場のお客様サービスの無料カフェコーナーで小学生の子どもたちがカフェ店員になり、接客するというものです。

店員たちが身にまとうエプロンと帽子は、2014年9月、ふれあいホームタウンみどりまちの秋のハウジングフェアでの「キッズカフェ」開催の際に、広島ガス東中国(株)様に購入していただきました。

1時間のうち、前半の15～20分で、身だしなみ、接客～提供までを研修し、残りの時間、お客様に対応します。接客に余裕のあるときは、飲食用のテーブルを回り、テーブルを整えたり、きれいに拭いたり。「いらっしやいませ。ご注文は何にいたしますか?」と、子どもたちは楽しみながらお仕事を体験しました。注文するお客様にも笑顔がこぼれ、やり取りを見守っている私たちもこママも笑顔になります。1日目の体験が楽しくて、次の日、また来てくれた子ども店員さんもいました。

「お客様を笑顔に!」という広島ガス東中国(株)様のこのガス展のコンセプトに、私たちの活動も一役買うことができたのではないかと自負しています。



子どもたちは、時間が経つにつれ、だんだんと仕事に慣れて、オーダーの際に声ははっきりと出るようになっていました。
お客さまも、子どもたちが対応していることで、ゆっくり注文を言ってくれたり、ますますの笑顔で、暖かく見守ってくださっているように思いました。子どもたちの一生懸命な姿に、その場の雰囲気は癒やしの空間になっていたと思います。(広島ガス東中国のご担当者様の声)

子どもが集まるイベントで「キッズカフェ」を開催してみたいと思われる団体様がありましたら、ご相談ください。企画に合せて準備・運営のお手伝いをさせていただきます。体験の申込み受けなども対応できます。

ガス屋さんの子育てひろばのある風景

広島ガス東中国(株)さんと一緒にデザインを企画しました。

天気の良い日、元気に風になびく幟旗。
「いつでもここで待ってるよ～」の気持ちです。



国道182号線から見える「ハートラボ」の看板。
もこルームではどんな活動をしているのかも紹介してくれています。

広島ガス東中国(株)様の応援に応えられるよう、これからもがんばります!

NPO法人こどもステーション 084-965-6625

2015年5月28日～2016年1月28日までのご支援ご寄付

【個人】井上恵子様、坂元康栄様、谷元絢子様、伊達紀子様、伊藤牧子様、小笠原恭子様、坂本晃一様、永久ちさ様、松村麻寿美様、アルファ企画(株)廣中タエ様、ベビーケアハウス honoka 佐藤千穂美様、上田康代様、市場恵子様、谷本恵子様、岡本久仁子様、中元由起子様、井上勝将様、渡辺真智子様、鳥海洋治様、園尾直哉様、松岡由香梨様、柳つとむ様、清水紀子様、村上夏子様、端下美佐様、三木知文様、佐藤由美子様、竹上暁美様、日下信子様、石井喜代子様、脊尾昌弘様、門田浩子様、森田和子様、川内治子様、Fiore 水蓮様、Fiore poppy 様

【団体】おひさまこどもクリニック様、よつば鍼灸整骨院様、ひらの保育所様、バルーンショップpokomoko様、ノーバディズパーフェクトママ様、(株)松祐不動産様

ご支援・ご寄付合計 266,242円

正会員からの寄付合計117,350円

合計383,592円 ※ありがとうございました※

※個人正会員からの寄付は名前の記載を省略しています。
※この他、匿名・カンパ・物品などご支援をいただきました。
※ザビッグ神辺店にて登録している、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにおいて、(2015年3月～8月分) 26,100円分のイオンギフトカードを頂きました。
※(一財)ツネイシみらい財団様より、「未就学児に対する暮らしの中の健康教育プログラム“せーの!”と教材の開発」に対して、10万円の助成交付を決定していただきました。

ボランティア募集！！

・子育て情報誌はらっぱ印刷・発送作業
・絵本の読み聴かせや人形劇、エプロンシアター
・音のひろばのお手伝い ・おもちゃ、絵本の整理等のボランティアをして下さる方を随時募集しています。もこルームは全てのスタッフがボランティアで活動し、皆様からのご支援・ご寄付、運営協力費等のご協力をいただき運営しています。

滑り台・登り台プロジェクト基金

☆2015年5月28日より、もこルームに「滑り台・登り台」を設置するための資金作りプロジェクトを始めたところ、9月9日に、その目標額を達成し、無事、もこルームに設置することができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。達成金額 **¥92,119円**
【5,000円以上のご寄付をいただいた団体・個人様(受付順)】川本いづみ様、内田朋代様、よつば鍼灸整骨院様、ナッティ☆様、市場恵子様、SEB 体育企画(株)様

NPO法人こどもステーションの

郵便振込口座：01310-5-53414
銀行口座：広島銀行 神辺支店 普通3026658
加入者名：トクヒ コドモステーション

※恐れ入りますが、振込み手数料はご負担願います。

編集後記 先日、「びーらぶ」インストラクター養成講座が終了し、広島県から新たに13名のインストラクター認定者が誕生した。思えば2012年の大阪・阪南市での全国シェルターシンポジウム会場で、びーらぶプログラムの紹介があり、その後、福山での報告会で「いつかきっとこの『びーらぶ』を実施していきたい！」と断言して、3年。翌年、友人がすぐに、養成講座の前段の必須講座を受講してくれ、その年には2人揃ってインストラク

子育て支援活動のご紹介

●●●子育てひろば「もこルーム」●●●

もこルームは、性別・年齢・婚姻・子どもの有無を問わず、誰もが参加できるコミュニティ型子育てひろばです。だれもが、安心して、集い、語り合うために、みんなでお互いに、子どもたちをあたたく見守る場所です。

☆開設時間は、平日/10:00～16:00です。

☆イベントの無い日の利用料(運営協力費)は100円(1世帯・1日)です。(※もこメイトさんは無料。)

☆12:00～13:00 は、ランチタイム、15:00～15:20 は、おやつタイム。お弁当持ち込みOK！電子レンジ・冷蔵庫もあります。キッチンが空いているときは、簡単なクッキングもできます。

☆リサイクルコーナーもご利用ください。

☆ハートラボには、洗濯機・ガス衣類乾燥機を備えています。もこルームを利用しながらお使いいただけます。

●●●子ども・子育て情報紙「はらっぱ」●●●

☆毎月最終金曜日に2500部発行

☆地域の保育所・幼稚園・店舗・医療機関などにご協力いただき、無料配布・設置しています。

☆「はらっぱサポーター」様の広告協賛により運営しています。

☆新しい設置・配布場所、はらっぱサポーター様を募集しています。

●●●子育て支援情報「もこナビ」●●●

☆福山市・府中市内の子育て支援情報・イベント情報を見ることができます。こどもステーションのホームページからご利用ください。情報も集めています。

<http://kodomostation.or.jp/>

●●●イベント託児 ●●●

☆団体やサークル、企業などのイベント・講座などの際の託児を行っています。会場は主催者様ご指定の場所となります。事前に出向き、安全などの確認をさせていただきます。

●●●もこルーム・ハートラボ団体貸出 ●●●

☆もこルームで子どもを遊ばせながら安心して活動したい子育てサークル

☆他会場でイベントを行う際の「託児ルーム」としてもこルーム専有を希望するグループ

☆イベントや講座などの自主開催を希望するグループ

☆営利・非営利を問わず貸出し可能

■利用できる日:月～金曜日 10:00～18:00

※詳しいことはお尋ねください。

●●●面会交流援助 ●●●

☆もこルームでは、土日祝日などを利用して乳幼児と小学生の「面会交流付添型援助」を実施しています。両親が自分たちだけで面会交流を行うことが難しい時、親子がよい関係を育めるようもこママが援助します。

※詳しい事はお尋ねください。

ターの資格取得のため東京へ足しげく通うことになった。少なくとも5人のインストラクターが必要なこのプログラム。ついに友人は助成金獲得に乗り出し、呼びかけに集まった37名のうち、13名が養成講座に参加した。今後の一年は、実施に向けての準備の一年になる。「びーらぶ」それは、DVで傷ついた母子が、自分を肯定し、暴力以外の方法で問題解決できることを学ぶための心理教育プログラム。広島を変える！(ぶ)